

2023年度事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(特定非営利活動法人輝きネットワーク)

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症が5類となったが、メディアかがやきでは重症化リスクの高い方もいるので、引き続きマスクの着用などの感染対策を継続して行った。メディアかがやきの事業所内での感染は起こらず、緩和できるところは緩和し、少しずつ行事も行った。

物価高が進行し、印刷など価格の見直しをしなければならないものも出てきた。インボイス制度が始まり、対応しないと受注できないおそれもあることから、登録することにした。

アンケート入力などの作業量は期待したほど回復はしなかったが、施設外支援が継続して取り組まれた。県の工賃向上の取り組みに参加し新しいIT関連の仕事の受注に取り組んだ。新しい作業を受注できたことで、売上高は昨年を下回ったが、工賃は昨年を上回ることができた。

施設外支援に取り組んできた1名が就労継続支援A型事業所に移行した。また、県庁の障害者雇用に1名が採用された。

利用者の状況が多様になり、長期に休んでいた方が受給者証の更新はせず退所となる方もいた。また、体調が安定せず、長期に休む方や他の医療的支援を利用する方もでてきた。

3月に短時間勤務の職業指導員2名が退職した。代わりにフルタイムの職員1名を採用した。長く働き続けてもらえるよう引き続き処遇改善を図っていきたい。

- 1、 スキルアップを図る事業ではアビリンピックに取り組み、今年度も写真撮影競技で全国大会に1名が出場し、銀賞を受賞した。アビリンピックに取り組んだことで、自信につながり求職活動に取り組み始めた
- 2、 利用状況としてはパソコン部目標10人に対し9.4人、軽作業部目標3人に対し2.5人、合わせて年間で11.9人であった。
楽天市場での仕入販売では、7月で終了とした。出店料無料のサイト（BASE）にかがやきショップをオープンしたが、集客方法や商品開発など課題は多い。
共同受注センターの紹介で始まった山形タクシーの施設外支援は継続して3名が交替で取り組んでいる。
- 3、 新型コロナ感染症流行対策の臨時的措置として在宅利用を認める通知が、5類移

行に伴い終了となった。すでに取り組んでいた1名は、継続して在宅利用も行い、体調の維持につながっている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
小規模作業所・ 障害福祉サー ビス・地域生活 支援事業等を 設置運営する 事業	就労継続支援 B型事業を運 営した。	年間開所 240日	メディアか がやき	5名	24名	27,377